

グラフ かごしま

Kagoshima Information Magazine
Graph **KAGOSHIMA**

7
Vol.507|2015 JUL.
グラフかごしまの購読料は
年間1,400円(送料込み)
[隔月1日発行]

特集

地域医療を守るために

〜皆で支え合い、今わたしたちができること〜

おいしく・気軽に・ヘルシーに

「かごしま減塩レシピ」

我が家のハッピーサラダ

「島々もよう」 与路島(瀬戸内町)

「本物。鹿児島県 特産品探訪」

ペーパークラフト

「ルリカケス」

「薩摩藩英国留学生同行記」

留学生、船上で

西洋文化に触れる

「かごしま祭時記」

太鼓山(西之表市)

Present
特産品プレゼント!
詳しくは21ページをご覧ください。





心に響く風景

大籠海水浴場

十島村

十島村(トカラ列島)は屋久島と奄美大島の間、南北約160キロメートルにわたり、有人7島と無人5島の合わせて12の島々で構成されています。火山の島、珊瑚礁の島、温泉の島とそれぞれに特色を持つ無垢の自然と、大和・琉球の両文化の影響を受けた特有の文化を有しています。

列島の最南の有人島である宝島は、イギリスの海賊キャプテンキッドが財宝を隠したという伝説も残る、ロマンあふれる島です。宝島の前籠漁港から車で5分ほど走ると、サンゴ礁の入り江を生かした大籠海水浴場が見えてきます。

透き通るエメラルドグリーンの海と、白い砂浜が織りなすコントラストの美しさは、多くの人を魅了し、トロピカルムードに溢れています。





岸良診療所 (肝付町)
山々を望む緑豊かな町の中にあり、週に2回診療しています。岸良地区住民の健康管理を支える医療機関であるとともに、コミュニケーションの場にもなっています。(撮影:中村正賢)

● グラフかごしまを購読しませんか。
定価180円、年間購読料1,400円(送料込み)
平成27年度 購読申し込み 受付中

● グラフかごしまに広告を載せませんか。

● グラフかごしまに関する
ご意見・ご感想をお寄せください。

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
鹿児島県広報課

TEL: 099-286-2095

FAX: 099-286-2119

E-mail: h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp



県ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

県携帯電話用ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/mobile/>

県公式ツイッター「鹿児島県政情報」

<http://twitter.com/kagoshimakensei>

県公式フェイスブック「鹿児島県」

<http://www.facebook.com/pref.kagoshima>

鹿児島インターネット放送局「ムーブ!かごしま」
<http://www.pref.kagoshima.jp/movekagoshima/>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために「点字図書」「拡大写本」「録音図書」などの読書代替物への媒体変更を行うことは自由です。

※5月号Vol.506の特集P.10の写真を反転して掲載しておりました。

※同号P.26の「伊佐市忠元公園」は「霧島山」、霧島市観光協会は、☎0995(78)2115でした。
訂正して、お詫び申し上げます。

4 [ひとと最前線] 鹿児島県地域医師育成特別顧問(医師)
愛甲 孝さん



6 [特集]
地域医療を守るために
～皆で支え合い、今わたしたちにできること～

12 [小特集]
第36回 霧島国際音楽祭
日本で最も熱いフェスティバル! 雄大な自然と音楽のハーモニー



14 [県政トピックス]
● 県立楠中学校・楠高等学校 開校式・入学式
● 大隅加工技術研究センター開設
● 県立鹿児島歯学校新築移転記念式典
● 第11回関西かごしまファンデー
● 「かごつまふるさと屋台村」プレオープン
● 地域リーダーと語る会(さつま町・伊佐市)
● かごしま遊楽館 20周年誕生祭
● 稲盛和夫京セラ名誉会長からの寄附金贈呈式



17 [ひとつべ! かごしま国文祭]
「チェスト行け! 提案事業」が始まります!
「かつおと焼酎」食と文化の祭典 (枕崎市)

18 [共生・協働の地域社会づくり]
川添地区公民館 (始良郡湧水町)



19 [おいしく・気軽に・ヘルシーに かごしま減塩レシピ]
我が家のハッピーサラダ

20 [島々もよう] **与路島** (瀬戸内町)

21 [本物。鹿児島県特産品探訪]
～2014かごしまの新特産品コンクール 鹿児島県観光連盟会長賞～
ペーパークラフト「ルリカケス」
プレゼントコーナー



22 [情報ボックス] **お知らせ・催し物案内**

24 [旅ルリカケス] **かごしまよかとこ巡り**
南の島で花とサンゴに癒やされる旅 (沖永良部島・与論島)



26 イベント情報 (7月～8月)

28 [薩摩藩英国留学生同行記] 第2回
留学生、船上で西洋文化に触れる

30 [かごしま祭時記] **太鼓山** (西之表市)

県政広報番組 テレビ・ラジオ

テレビ

MBC ふるさと かごしま	毎週土曜日 11:15～11:30 リポーターが県内各地に出かけ、県政情報をお伝えます。毎週抽選で素敵な特産品が当たります。	KTS どっぴん かごしま	毎週土曜日 17:25～17:30 県政トピックスから旬の情報をピックアップし、分かりやすく紹介します。
KYT かごメン! 県政ナビゲーション	毎週日曜日 11:45～11:50 県の旬な話題、施策、県有施設、各地域振興局・支庁の取組を、鹿児島で活躍する熱いメンズがリポーター役となり、分かりやすく紹介します。	KKB かごしま ひと	毎週日曜日 11:45～11:50 かごしまで頑張っている「ひと」に焦点をあてつつ県の施策や県政の動きをわかりやすく紹介します。

◎ 最新の番組内容を、県ホームページトップページ→広報→県政テレビ・ラジオ番組からご覧いただけます。

ラジオ

MBC むっちゃん 「いきいき鹿児島県」	毎週木曜日 18:50～19:00 県の行事・イベント、制度等を「むっちゃん」のかごま(鹿児島)弁とともに、アナウンサーと県職員等による対談で、分かりやすく紹介します。	ミューFM かごしま info ラジオ	毎週月曜～金曜日 8:35～8:40 県の行事・イベント、制度等をさわやかなBGMにのせてアナウンス等で分かりやすく紹介します。
------------------------------------	---	-----------------------------------	---

愛する土地で
健やかに暮らし続けるための
医療を根付かせたい

鹿児島県は南北に約600キロメートルあり、多彩な地域が存在。28の有人島など離島・へき地も多く、地域医療に関して全国から注目される県でもある。しかし高齢化や過疎などの、社会的な問題と向き合いながら医療に従事する医師はまだ十分に確保されていない。鹿児島の未来を見据えた活動で、自身もへき地医療を行いながら若手医師の育成に尽力する愛甲孝さんに、これからの地域医療を守る、熱き医師たちの育成について話を伺った。

鹿児島県地域医師育成特別顧問（医師）

愛甲 孝さん

Takashi Aikou

医師を目指した

きっかけは？

とくに高尚な理由はありませんが、強いて挙げるなら、義理の兄が外科医で、「カッコイイ」と憧れたこと。手術は治療結果が明確に分かり、自分の性に合っている…と感じたことでしょうか。医学生時代は安保・インターン闘争の真つ盛り。卒業式もなく、医局は封鎖された状態で入局が叶わず、仲間は全国に散っていった学年でした。鹿児島へ戻り、ぶらぶら過ごしていた私に「外科はおもしろいぞ」と声をかけてくださったのが当時、鹿児島大学医学部で指導されていた内山八郎教授。目の前に道が開けたひと言でした。

私は、西郷隆盛先生をことのほか敬愛する一人。彼が掲げた『敬天愛人』の理念を自分らしく解釈し、今日まで努力してきました。そんな私の座右の銘



始良市北山地区の地域医療を支える北山診療所

は「敬天究理」。敬天愛人と自然科学の原点である理を究める、という観点からの私の造語です。外科医の道に立つたとき、誰にも負けない存在感を持つ医師になる、と決心したことを今もよく覚えています。それから半世紀が過ぎようとしています。熱い心を持ち続ける思いがあるのは幸せだと感じています。

鹿児島島の医療の魅力、

問題点は何でしょう

教壇に立っていた鹿児島大学医学部には、全国的にも珍しい、離島やへき地の医療について学ぶ、国際島嶼医療学講座があります。鹿児島は人情味のある土地柄ですが、離島・へき地ではその傾向が強く、患者さんとも距離が近い。それゆえ地域医療を学ぶ最高のフィールドとシステムが揃った魅力的な教育環境といえます。それは私自身、医師として県内各地へ赴いた経験からも感じています。

問題点は、研修の義務化です。大学卒業後に、国が定めた研修を2年間行うのですが、それにより鹿児島ではなく東京や大阪といった都会の病院で研修する医師が増えました。そのため、医師が鹿児島に定着せず、県内の新しい医師数が急激に減少。さらにハードな勤務環境にある診療科医師も少なくな

り、医師の偏りがみられるようになりました。この問題を解決するため、県は全国に先駆けて「地域枠入学制度」を採用。これは成功例として、全国から注目されています。

学生・卒業生に対して

期待することは？

県の医師確保対策の一環として、鹿児島大学医学部に「地域枠入学制度」を導入して10年目。今年度は初めて研修を終えた1期生2人が十島村と肝付町に配置されました。研修医や学生にも言うことですが、自分たちの故郷である鹿児島をよく知り、地域の皆さんや医療関係者から、たくさんのご意見を吸収してほしいと思います。

卒業生のキャリアアップについては、配置された勤務地で働きながら、大病院や県立病院などで計画的に修練もできるシステムを整備。専門性に特化した研修も進行中です。離島・へき地の勤務義務年限の終了後にどのような医師になるかは自由ですが、軸足を鹿児島に置いて成長してもらえたらと思います。地域で学んだ経験を生かして、世界へ羽ばたく若者も出てくるとうれしいですね。

ご自身もへき地医療に従事されています

現在、私は始良市の青雲会病院に勤務し、北山診療所出張診療を行っています。一人暮らしの高齢者のもとへは往診にも行きます。患者さんとの他愛もない会話も治療の一つ。緊急や高度な治療を要する際には、地元の青雲会病院で対応する連携も組まれています。

この地域は山深く、当初はどうしてこんな不便なところで暮らすのか不思議だったのですが、住民の皆さんの地域への愛着や、お互いを支え合う親族以上のコミュニティを目的の当たり前にして納得しました。

「地域枠入学制度や県・大学・医師会などが一体となった地域医療の再生に向けた努力が実りつつありますが、2050年代の超高齢化社会・少子化問題への対応策もまだまだ必要です。学生や若い医師の皆さんには、患者と医療を通じて感動の共有をしてもらいたいと考えています。なぜならそれが、お互いの信頼構築につながるからです。感動を通じて、地域医療が光り輝くことを願っています。



「患者さんとの会話も治療の一つ」と話す愛甲先生

特集

地域医療を守るために

～皆で支え合い、今わたしたちにできること～

深刻化する医師不足や医師の過重労働、救急医療をどうするか・・・。

さまざまな問題を抱える中で、地域医療、主に離島やへき地の医療を守ろうと、

日々、現場で懸命に働く人たちがいます。

しかし、地域医療が抱える課題は、医療に携わる人達の努力だけでは解決することが難しく、

ますます厳しさを増しています。

離れて暮らす親の病気。夜間の子どもの病気。旅先でのケガ。

地域医療の課題は、あなたやあなたの家族の命に関わる身近な、そして重要な問題です。

地域医療を守る役割を、医療関係者だけに任せず、

わたしたち住民一人ひとりに何ができるのか、一緒に考えてみませんか？

診察室

鹿児島県の医療の現状と課題

鹿児島県は、温暖な気候の下、南北約600キロメートルに及ぶ広大な県域の中に、世界自然遺産に登録されている屋久島や、亜熱帯の奄美群島をはじめ特色ある島々を有し、多彩な魅力に溢れています。特に離島人口(171,652人)および離島面積(2,485キロ平方メートル)は全国第1位で、人が住んでいる離島数も28にのぼります。

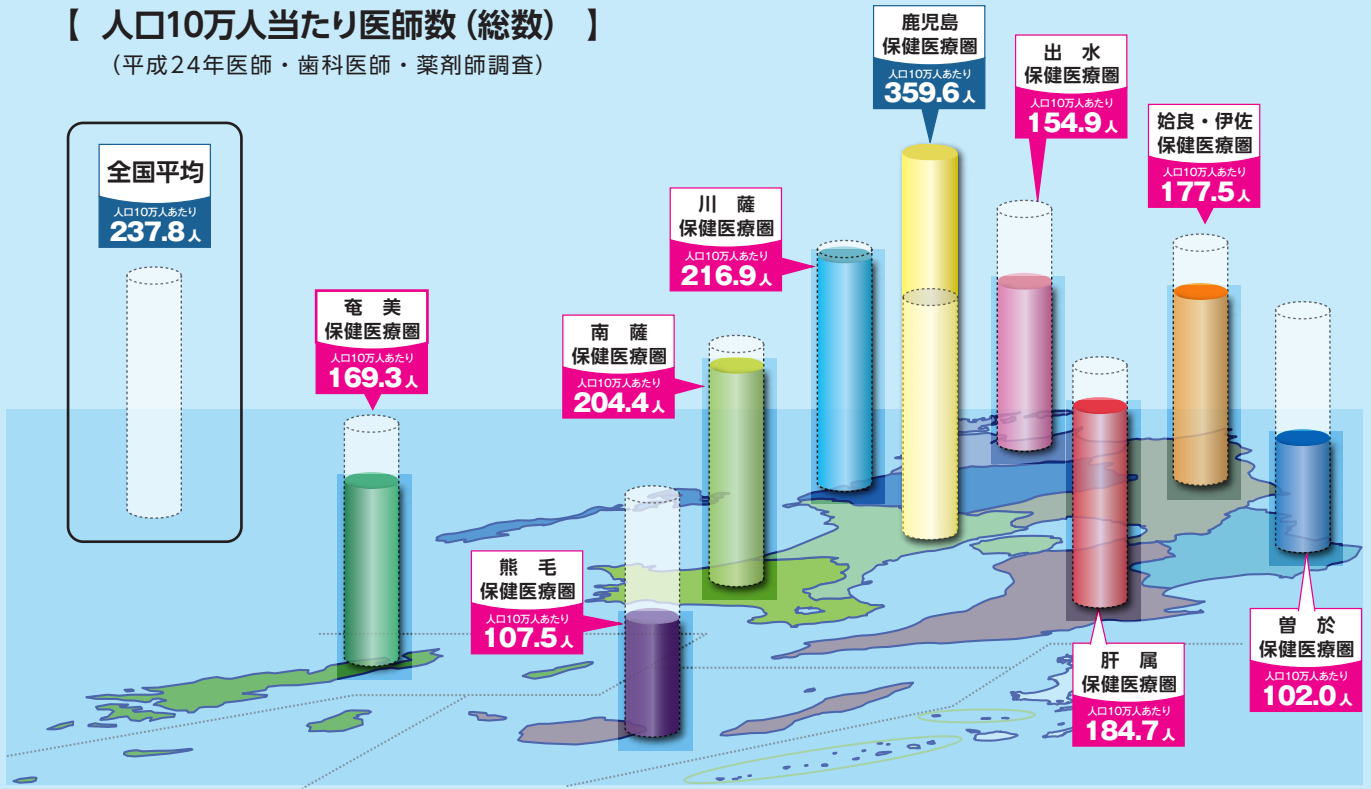
しかし、この地理的な特色はへき地や離島固有の厳しい環境を生み出したことから、これらの地域では地域住民の「かかりつけ医をはじめとした医師が不足し、地域のニーズに応えられない状況になっています。

人口10万人当たりの医師数で見ると全国平均を超えているのは、鹿児島市とその近郊のみで、それ以外の地域では全国平均を大きく下回っています。(図①) また、産科、小児科など厳しい勤務状況にある診療科でも、県全体の医師数が、全国平均を下回っています。(図②) 医師が不足した状況はこのような理由の他に、平成16年度から始まった臨床研修制度が大きく影響していると言われています。かつて、医師が不足す

図①

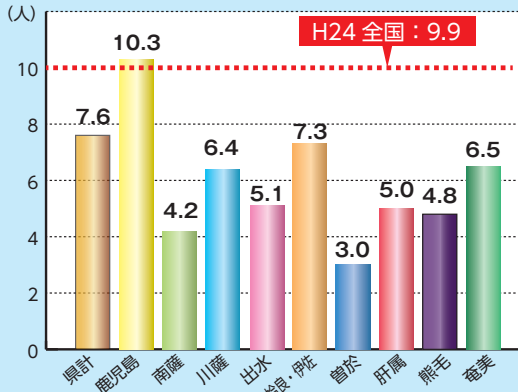
【 人口10万人当たり医師数(総数) 】

(平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査)



図②

【 小児科医数(小児人口1万人当たり) 】



る地域に対しては、大学の附属病院などから医師を派遣して、地域全体の医師数のバランスを保っていました。しかし、臨床研修制度の開始により状況が一変します。それまで各大学の医学部生は、自身の在籍していた大学の附属病院で卒業後に研修を受けることが一般的でしたが、全国の研修病院の中から自由に選べるようになったのです。

結果、医学部生は卒業後、病院の規模が大きく、多様な患者と接する機会に恵まれた都市部の研修病院に流出したことから、地方の拠点的な病院でも医師が不足することとなり、地域全体でのバランスが保てなくなりました。

医師の不足を解消することは、地域医療を守るための大きな課題といえます。

医師の確保へ向けた取り組み

鹿児島県では、主に離島・へき地で診療を行う医師を確保するために、さまざまな取り組みを行っています。

医師の卵を育てるために

鹿児島大学医学部と連携し、入学定員の枠を広げることで、県内で養成する医師を増やしています。

また、自治医科大学(栃木県)や鹿児島大学医学部において、将来、県内の離島やへき地で勤務しようとする医師に対して、奨学金を貸与するなど、離島・へき地で診療を行う医師の育成に取り組んでいます。

若手医師を確保するために

医師になるためには、医学部卒業後、医師免許を取得し、2年間の研修を修了しなければなりません。新臨床研修医制度の影響により、減少が続いていた研修医に、県内にとどまってもらおうと、県内の病院や県医師会などが協力して、平成21年に「県初期臨床研修連絡協議会」が発足しました。現在、「オールかごしま」体制で、県内の病院に軸足を置き、将来の鹿児島の地域医療を支える研修医の確保に取り組んでいます。

医師がよりよく働けるために

県外在住医師の県内医療機関へのあっせん(「ドクターバンクかごしま」)による支援、厳しい勤務状況にある産科医などがよりよく働けるための支援、出産などで離職した女性医師がスムーズに職場復帰できるようにするためのサポートなどを行っています。

医学生時代



◆鹿児島大学医学部
入学定員の増
(85名→H23・117名)
◆地域枠学生の育成
(H18年…2名
↓H22年…20名)

卒後1～2年目



◆県内臨床研修医の確保

卒後3年目



◆鹿大病院・入局者数の確保

卒後4年目以上



◆U・I・Jターンの医師の就業支援

65歳以上勤務医



◆定年退職医師の活用



◆女性医学生や女性医師の支援 など

◆医師の離職防止 など

「鹿児島流」熱いハートの医師育てます!



臨床研修病院を紹介するパンフレット

「オールかごしま」体制で県内研修病院の魅力を発信しています!



県外イベントでの説明の様子

奨学金の貸与制度を活用した医師が地域に羽ばたきます!!



知事から「へき地医療機関勤務」の辞令交付

【問い合わせ先】 県庁 地域医療整備課 ☎099-286-2653

県の取り組みなどについて、詳しくはHPをご覧ください。

鹿児島県 医師確保

検索

VOICE

離島で愚直に医療と向き合っていく

◎県立大島病院副院長 (Uターン医師)

満 純孝 医師



昭和31年、奄美市生まれ。自治医科大学医学部卒業。中学・高校は鹿児島市内で過ごした。Uターンで帰島。現在、県立大島病院で副院長として勤務している。

県立大島病院に赴任して、4年目になります。当院は離島の救急医療を担う、奄美群島の中核病院で、明治34年に開設され、115年という歴史を有しています。平成26年度には、念願の救命救急センターを開設。奄美の救急医療・搬送が強化され、圏域外への患者搬送をできるだけ少なくし、群島内で医療が完結することを目指しています。

とはいえ、奄美は海に囲まれており、すぐに専門病院で受診ができるわけではありません。医療が完結できない場合でも、ある程度まで治療が必要になります。そのためには、私たち医師は、自分の専門性だけにこだわってはいただけません。専門知識や技術を深めつつも、幅広く診察できることが必要です。

離島の医療を守るためには、愚直に、医療に向き合うしかありません。医療の地域格差をなくそうと、さまざまに取り組みがされ、離島で働くことを志す学生もいます。そんな学生に伝えたいことは、情熱を持ち続けることの大切さです。意欲さえあれば、必ず道は開けてきます。

チーム医療で子どもたちに笑顔を

◎鹿児島大学病院 小児科医局 (県外大学出身)

加藤 嘉一 医師



昭和61年、鹿児島市生まれ。久留米大学医学部卒業。子どもの笑顔に魅力を感じ、小児科医を志した。現在勤める鹿児島大学病院では、子どもたちから、カトちゃんのお愛称で慕われている。

卒業後の研修病院先を決めるとき、県内の病院を見学したりする機会がありました。そこで先輩方から話を聞いて、人の温かさに触れ、故郷での就職を決めました。

研修医時代、与論島の診療所で過ごしたことは、貴重な経験でした。地域の方々に寄り添い信頼していただける医師になりたいと思いました。

鹿児島に帰ってきて、こちらは病院の連携体制が整っていると感じます。こうしたネットワークのおかげで、医療の連携がスムーズにいつているように感じます。

鹿児島は小児科医不足が深刻です。未来を担う子どもの将来と健全な発育のために、地域や医師も協力して、見守っていくことが大切です。特に小さな子どもは、自分の状態を訴えられない場合が多いので、話を聞き、触れ合うなかで、子どもの病状を細かくところまで把握しようと努めています。

これからも子どもたちが笑顔になれるよう、その手助けができる医師を目指していこうと思っております。

住民の健康と地域のために診療所を守る

◎肝付町岸良診療所長 (県地域枠医師1期生)

新村 尚子 医師



昭和61年、鹿児島市生まれ。県地域枠医師1期生として、鹿児島大学医学部に入学。今年4月、肝付町岸良診療所に赴任。週2回の診療で、内科と外科を診察している。

受験勉強中に、県地域枠医師の制度を知り、チャレンジさせていただきました。人の命や健康を守る医師になり、必要とさせていただく地域の方々のお役にしたいと思ったのが、きっかけでした。

肝付町岸良診療所に勤務して3ヶ月。診療所では、出来ることが限られているため、詳しい検査は町立病院で行います。診察では、患者さんの微妙な変化に気づき、大事に至る前に早めの検査・治療ができるよう、心がけています。

休みの日は、地域の方々と交流をさせていただいています。

肝付町は、山と海の大自然に囲まれた、とても魅力的な町です。地元の方は温かく声をかけてくださり、大変ありがたいです。

地域では、一人暮らしの高齢者が増えてきています。患者さんの生活環境も含めて、家族のような立場で話を聞き、寄り添える医師になりたいです。今までの先生方が築いてこられた患者さんとの信頼関係を守り、健康と地域の安心のために、これからも励んでいきます。

地域医療を守るために今、私たちができること

救急車の良識ある利用にご協力ください

◎救急救命士
(鹿児島市消防局)
肥後 賢志 さん



昭和40年、鹿児島市生まれ。昭和60年鹿児島市消防局入局。平成15年救急救命士試験合格。平成26年10月より、高度救急隊(ドクターカー)隊長として、現在、鹿児島市立病院に勤務。



約40%が軽症です。救急車は、応急処置院への到着時間も遅くなります。

今後、暑い日が続きますので、熱中症に十分お気をつけください。

現場到着時間が遅くなれば、当然、病院への到着時間も遅くなります。

車の良識ある利用にご協力いただきたいと思います。

鹿児島市においても、平成22年中約2万2千件の出場に対し平成26年中は約2万6千件と約4千件増加し、これにより現場到着時間も平成22年中の平均7.0分に対し、平成26年中は平均7.7分と遅くなっています。

救える命を救うためにも、普段から相談できる「かかりつけ医」をもち、「救急車の良識ある利用」にご協力いただきたく思います。

近年、全国的に救急車の出場件数、搬送人員数が増えており、それによって救急隊の現場到着時間も遅くなっています。

軽症者を救急病院に搬送し、重症者の受け入れが困難なこともあります。これまでも、「今、医師の治療が開始されたら助かるのに」という悔しい思いを幾度となく経験してきました。

「交通手段がない」「便利だから」と救急車を呼ぶ方がいます。「休日は休めない」「日中は用事がある」などの理由で救急外来を夜間や休日に受診する方もいます。これらの行動は、救える命を救えないことにつながります。緊急性のない休日・夜間の自己都合による気軽な受診(いわゆる「コンビニ受診」)を控え、日ごろから健康に関する相談ができる「かかりつけ医」をもつことで、医師との良好な関係を築きましょう。救急車や救急窓口などを適正に利用すること。一人ひとりがルールを守ることで「救えるはずの命を救う」ことにつながります。医師が「地域で働きたい」という気持ちを支えていくことなど、今、私たちにできることから始める必要があります。

SUPPORT ALL KAGOSHIMA

「オールかごしま」で支える 鹿児島県の地域医療

県内各地の医療機関で、今、この時も必死に働いている医師がいます。看護師、検査技師、薬剤師、患者さんの食事を作る方、院内の清掃を担う方などに支えられ、医療現場は24時間体制で動き続けています。医師は、決して一人で仕事をしているのではないのです。

そして、わたしたち県民も、医師を支える「オールかごしま」のメンバーです。

あなたの行動で、鹿児島県の地域医療が変わります。一緒に、安心して暮らせる鹿児島を作りましょう。



近代医療の先駆け・鹿児島

幕末から明治にかけて、鹿児島は医療の面でも全国に先駆けて近代化を図りました。

医学校の設立や英国人医師の招聘など、

先人たちの功績は今でも鹿児島市内のあちこちに見ることができます。



西郷さんも敬愛した 英国人医師

ウィリアム・ウィリス

(William Willis 1837-1894)

日本の医学の近代化に尽力した英国人医師のウィリアム・ウィリスは、明治維新の立役者である西郷隆盛や大山巖^{おほやま いわお}などとも交流があり、鹿児島医学校(鹿児島大学医学部の前身)の設立時から教壇に立った、鹿児島との縁が深い人物です。

1837年アイルランドに生まれたウィリスは、グラスゴー大学やエジンバラ大学で医学を学び、1862年25歳の時に駐日英国公使館・領事館付きの医師として来日しました。ウィリスが来日した頃の日本は明治維新に向けて国が大きく揺れ動いている時代で、ウィリスと西郷たちが出会ったのも1868年の鳥羽伏見の戦いでの事でした。大山巖に請われて薩摩藩の治療に駆けつけたウィリスは、負傷した藩士を西洋医学で治療し、西郷隆盛の弟の西郷従道をほじ

め多くの人命を救ったといわれています。

明治維新から3年後、西郷らの後押しもあり、ウィリスは西洋医療の指導者として鹿児島に招かれます。鹿児島医学校に着任したウィリスは県内の病院の整備や医学教育に精力的に取り組み、それまで漢方や蘭学が主流だった鹿児島に近代医療の礎を築きました。教え子のなかには脚気^{かっけ}の予防法の発見で世界的に知られる高木兼寛^{かねひろ}もいます。また医学生への教育だけでなく、当時の食肉処理の方法を改めたり、牛や羊を放牧して牛乳やバターを作る酪農をすすめたりと、民間の衛生事情や食生活の改善も積極的におこないました。

ウィリスは鹿児島に4年滞在した後、休暇をとって一年間イギリスに戻りますが、そこでも鹿児島の医療のために西洋の医療事情をまとめる活動を行っています。その後また鹿児島に帰ってきましたが、西南戦争などの国内事情により再度イギリスに戻ることになりました。ウィリスの鹿児島での生活は6年ほどでしたが、そのなかで鹿児島の人々の健康を思い、日本の近代医療に尽くした功績は計り知れません。鹿児島大学医学部にはその偉業をたたえる「頌徳記念碑」が置かれ、鹿児島の医療に携わる人々を見守っています。

参考) 佐藤八郎「日本近代西洋医学の夜明け(英医ウィリアム・ウィリス)」(鹿児島大学医学雑誌Medical journal of Kagoshima University,47)

かごしま”医”跡巡り

■鹿児島大学医学部 附属病院跡記念碑



私学校の跡地に設立された県立鹿児島医学校および附属病院は、変遷を経て鹿児島大学医学部および附属病院となり、昭和49年に鹿児島市桜ヶ丘へ移されました。城山町には当時を偲ぶ記念碑が残されています。
所在地：鹿児島市城山町

■^{あか くら}赤倉病院の跡



医学校と病院を兼ねていた鹿児島医学校は、赤レンガ造りの洋風建築だったことから赤倉病院と呼ばれました。ウィリアム・ウィリスが初代校長兼病院長として着任し、近代医療の普及に務めました。
所在地：鹿児島市小川町

■医学院跡



薩摩藩第8代藩主島津重豪^{しまづしげひで}によって創設された医学院は、漢方の教育・研究施設として、武士だけでなく町人にも門戸を開く画期的な施設でした。現在は中央公園内に石碑が建てられています。
所在地：中央公園内(鹿児島市)

■ウィリアム・ウィリス頌徳記念碑



ウィリスの功績をたたえるために、門下生が中心となって明治26年に建立された石碑。鹿児島市城山^{かくりょう}にありましたが、現在は鹿児島大学医学部の鶴陵会館内に移設されています。
所在地：鹿児島市桜ヶ丘

第36回

霧島国際音楽祭

音楽監督：堤剛

日本で最も熱いフェスティバル！雄大な自然と音楽のハーモニー

7月15日(水)から8月2日(日)にかけて、霧島市の霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)をメイン会場として県内各地で『第36回 霧島国際音楽祭』を開催します。

世界一流のアーティストたちが奏でるコンサートやマスタークラス(講習会)など霧島国際音楽祭の魅力を紹介します。



36回目を迎える
歴史ある国際音楽祭

今年で36回目の開催となる霧島国際音楽祭は、1980年にゲルハルト・ボッセ(当時、東独ゲヴァントハウス管弦楽団第一コンサートマスター)が創設した日本で最も歴史ある音楽祭の一つです。

「受講生は霧島で学び成長すると、講師やアーティストとして音楽祭を支える」という伝統が根付いており、毎年数多くの観客と受講生が音楽を通じて充実した夏の期間を過ごします。

県内各地で行われる音楽祭を楽しみ、クラシック音楽に興味を持つきっかけにしてみたいいかがですか。

鹿兒島中が音に染まる
魅力溢れるコンサート

世界各地で活躍する60人余りの旧知の名手たちが、年に一度

霧島に集い、受講生も交えて2週間にわたり音楽の祭典を繰り広げます。

【問い合わせ先】

霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)

☎0995(78)8000



霧島神宮かがり火コンサート

第36回 霧島国際音楽祭 特徴とポイント

堤剛音楽監督からメッセー



© 鍋島徳恭

つづみ つよし
堤剛(チェロ)

名実ともに日本を代表するチェリスト、堤剛音楽監督が、クラシックの聖書とも言われる大作、バッハの「無伴奏チェロ組曲」を全曲演奏!

今年もまた、「日本で最も熱いフェスティバル」が始まります。

霧島国際音楽祭は、満員の聴衆を沸かせた一昨年、東京公演に引き続き、昨年、初の海外公演となった台北公演を成功させることができました。この2年間の県外での公演の成功は、霧島国際音楽祭が35年にわたって、じっくりと培ってきた質の高さを、より多くの方に知っていただくこととなり、霧島国際音楽祭の歴史の中で大きな節目となりました。これもひとえに、この音楽祭を愛し応援して下さった皆さまのお陰でございます。

改めてお礼を申し上げます。

今年、鹿児島に集中して、ますます充実した内容の濃い音楽フェスティバルとして、開催させていただきます。

日本国内はもとより、世界各地から素晴らしい音楽家たちが集い、重厚なオーケストラから、心にしみわたる室内楽、ソロまで、音楽祭という特別な場ならではの、今ここでしか聴けない熱い演奏を繰り広げます。

この夏のひと時、音楽の熱い感動を、皆さまと共に分かち合えることを楽しみにしております。



エリソ・ヴィルサラゼ (ピアノ)

世界最高峰のピアニスト、エリソ・ヴィルサラゼが霧島を大いに気に入って今年も参加。最高レベルのマスタークラスのほかりサイタルや室内楽を開催します。また1988年第8回から音楽祭と深い縁のあるベトナム出身の国際的ピアニスト ダン・タイ・ソンが霧島国際音楽祭で初めてピアノ協奏曲を演奏。ファイナルコンサートでラヴェルの名曲「左手のためのピアノ協奏曲」を披露します。



キリシマ祝祭管弦楽団

鹿児島県出身の指揮者下野電也と、霧島国際音楽祭の講師やアーティストで構成された特別オーケストラ「キリシマ祝祭管弦楽団」が、ベートーヴェンの「交響曲第4番」を、さらに、2002年にチャイコフスキー国際コンクール最高位を受賞した川久保賜紀を迎えて、モーツァルトの「ヴァイオリン協奏曲第2番」を演奏します。



アンドレア・ロスト (ソプラノ)

世界5大歌劇場を制覇したプリマドンナ、ソプラノのアンドレア・ロストが、みやまコンセールとザビエル教会でオペラ・アリア満載のリサイタルを開催。まさに音楽祭ならではの贅沢なコンサートです。

奇跡のホールと称される「みやまコンセール」



みやまコンセールは、1994年、音楽祭のために建設され、国際音響学会で「奇跡のホール」と称賛されたホールです。外観は外洋に乗り出す船をイメージしています。また、55,000㎡の敷地には菩提樹に散策路と、自然と音楽を満喫できる特別な空間になっています。

「音楽家の学び」に触れられる公開マスタークラス

世界の名演奏家が、連日一対一のレッスンをを行います。音楽祭の原点であり、現在も大きな柱の一つであるマスタークラスは一般に公開されています。毎年、緑豊かな霧島の地で、レベルの高い指導が繰り広げられます。



詳しくは、音楽祭公式HPをご覧ください。 → <http://www.kirishima-imf.jp/>

県政の動き

4月11日(土)～6月10日(水)

- 4月11日(土) ★県立楠隼中学校・楠隼高等学校 開校式・入学式
- 4月12日(日) 鹿児島県議会議員選挙
- 4月15日(水) 消防関係功労者表彰式
- 4月16日(木) ★大隅加工技術研究センター開設
- 4月17日(金) ★県立鹿児島聾学校新築移転記念式典
- 4月19日(日) ★第11回関西がごしまファンデー
- 4月22日(水) ★「かごまふるさと屋台村」プレオープン
- 4月25日(土) 元気もりもり！畜産フェア
- 4月29日(水) みどりの感謝祭
- 5月4日(月) 日本の近代化産業遺産群「九州・山口及び関連地域」イコモスによる評価結果・報告
- 5月7日(木)～8日(金) ★地域リーダーと語る会
- 5月20日(水) 鹿児島県総合教育会議
- 5月21日(木) 鹿児島県総合防災訓練
- 5月25日(月) 薩摩義士顕徳慰霊祭
- 5月29日(金)～31日(日) ★かごしま遊楽館20周年誕生祭
- 5月29日(金) □永良部島(新岳)噴火
- 6月2日(火) ★稲盛和夫京セラ名誉会長からの寄付金贈呈式

★は写真入りで紹介

4月11日(土)

県立楠隼中学校・楠隼高等学校 開校式・入学式



楠隼中学校・楠隼高等学校の開校式と入学式が、伊藤知事や永野肝付町長、古川県教育長をはじめ、関係者合わせて約600人が出席のもと挙行された。

知事からは、「楠隼で大いに自分を鍛え、強い胆力を身に付け、あらゆる分野で活躍できる人材となってくれることを願っています」と新入生に向けてエールが贈られます。

県内外から楠隼の学舎に集まった生徒たちは、「楠が広がる空へ、隼が羽ばたくように邁進していきたい」と、一期生として伝統を築いていく決意を固めていた。

入学式後には、地元肝付町の皆さんによって地域の食材を生かした食事が準備され、伊藤知事も生徒や保護者らとの会食で親睦を深めた。



4月16日(木)

大隅加工技術研究センター開設



素材提供型農業から一次加工による高付加価値型農業への展開を図る拠点として、「大隅加工技術研究センター」を開設した。

当日は、多くの方々の出席のもと、オープニング式典が盛大に行われ、施設見学会も併せて行われた。

当センターは、新たな加工・流通技術に関する研究や開発と、加工事業者などによる加工品の開発・試作や販路拡大の取り組みを支援することができる全国に類を見ない総合施設となっている。

今後、当センターを核として、県産農産物などの付加価値を高める取り組みを推進し、農業を基盤とした地域の活性化につなげていくこととしている。



県立鹿児島聾学校新築移転記念式典



モニターが設置され、65人の子供たちは、これまで以上に充実した、安全安心な学習環境の中で、楽しく学習に励んでいる。



幼稚部から高等部専攻科までの聴覚障害のある子供たちが学ぶ県立鹿児島聾学校は、創立113年目を迎える今年、草牟田から下伊敷に新築移転し、記念式典が開催された。

伊藤知事を始め、大勢の学校関係者や地域の方が出席する中で、全国聾学校合奏コンクールで最高賞を受けた子供たちによる合奏や、全校合唱を披露し、新たな学校の門出を祝った。

新校舎には、最新の集団補聴システムや、緊急時に文字情報を素早く伝える数多くの

第11回関西かごしまファンデー



当日は、約3万6000人が来場し、早い段階で特産品が売り切れるブーイングが出るなど、会場は、1日中熱気であふれていた。



関西エリア最大の物産観光展「第11回関西かごしまファンデー」が開催された。このイベントは、京セラドーム大阪において平成14年からスタートし、今回で11回目を迎える。

伊藤知事は、関西鹿児島県人会総連合会の稲盛会長らとともに、特設ステージに登壇し、県産品や当県への誘客のPRを行った。

今回は、約250企業・団体の318ブースが出展し、各市町村の特産品などの販売、本県出身の芸能人や県人会会員のステージショーなどが行われた。

「かごまふるさと屋台村」プレオープン



同村には、かごしまの食の魅力を提供する場として大きな役割を担うとともに、地域経済の活性化に引き続き寄与することが期待される。



鹿児島島の玄関口の鹿児島中央駅前に立地し、平成24年の開村後、3年間で約130万人が訪れ、各種の本県食材を扱う「かごまふるさと屋台村」が4月23日のリニューアルオープンに先立ち、関係者多数出席のもとプレオープン式典を開催した。

式典では、鹿児島グルメ都市企画の古木理事長や伊藤知事などのあいさつのほか、出店者で構成する屋台村の林大智村長が「鹿児島を代表する責任と誇りを持ち、県産品を利用した料理と焼酎、観光案内で心からもてなす」という決意表明を行った。

地域リーダーと語る会 (さつま町・伊佐市)



伊藤知事が県民と直接対話を行う「知事と語る会を、「地域リーダーと語る会」と題してさつま町および伊佐市において開催し、それぞれ各分野のリーダー約20人が出席した。

第一部では、4月に放送された県政広報番組の知事インタビューを放映し、知事の県政運営に対する考えを説明した後、各分野の現状や課題などについて地域リーダーと知事が意見交換を行った。

第二部では、知事と地域リーダーが会食しながら、地域の未来について語り合った。また、知事は語る会に先立ち、地域応援団を結成して地域の活性化に取り組んでいる県立伊佐農林高校などを視察した。



かごしま遊楽館20周年誕生祭



東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かごしま遊楽館」の誕生祭が開催された。

「かごしま遊楽館」は、平成7年5月30日にオープンし、今年で20周年を迎えた。節目の年である今年は、プレゼントの配布やお楽しみ抽選会、旬の農産物販売、10月31日から開催される「かごしま国文祭」のPRのほか、奄美の島唄ライブや、県と交流のある清泉女子大学生サークルによるステージイベントなどを行い、会場は多くの来場者で賑わいを見せた。

また、期間中は1階から3階の各店舗で特別企画を展開し、鹿児島島の食や文化などを大いにアピールした。



稲盛和夫京セラ名誉会長からの寄附金贈呈式



稲盛和夫京セラ名誉会長から県および鹿児島市への寄附金贈呈式が、6月2日に行われた。

稲盛名誉会長から「鹿児島の若者たちを含めて海外に開かれた鹿児島をつくること、国際的な交流をすることには意義があると考え寄附をさせていただいた」とのお話があった。

いただいた寄附金は、鹿児島における国際交流のさらなる発展のため、外国人留学生を受け入れるとともに、留学生などと県民・市民が交流することのできる「国際交流センター（仮称）」の建設資金として、県と市が一体となって活用することとしている。



ひっとべ!

本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

かごしま国文祭

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]



「チエスト行け!提案事業」が始まります!

「第30回国民文化祭・かごしま2015」では、県や市町村が主催するイベントだけでなく、県民の皆さんが主役となって企画・実施する「チエスト行け!提案事業」をいよいよ7月18日(土)からスタートします!

各イベントの実施者は、県内の文化団体・グループ・NPO法人など。平成26年6月から9月末までに応募のあった156件のうち、44件を採択しました。

見どころは、ジャズ音楽やストリートダンス、映画や現代アートなどの幅広いジャンルのほか、文化ジャンルを超えたコラボレーションなど、盛りだくさん。さまざまな世代の県民の皆さんの参加により、11月15日(日)まで県内各地で展開されます。

7月から続々と県内各地で繰り広げられるイベントを、皆さんもぜひ観覧し、かごしま国文祭と一緒に盛り上げていきましょう。各イベントの詳細は、かごしま国文祭のホームページをご覧ください。

●「かつおと焼酎」食と文化の祭典

枕崎市では、10月31日(土)から11月1日(日)の期間、「かつおと焼酎」食と文化の祭典を開催します。

枕崎のカツオ漁と鯉節製造は300年以上の歴史があり、鯉節生産量は全国の約4割を占め、日本一を誇ります。また、枕崎市は日本有数の焼酎蔵を有する町でもあります。

祭典のメイン会場である南薩地域地場産業振興センターでは、鯉をテーマとした

講演会や、劇団「ぶえん」による公演、食の祭典として、日本料理店の老舗「なた万」社長

の木浦信敏氏(枕崎市出身)による、出汁の催しなど、多彩なイベントを計画しています。

サブ会場である薩摩酒造「明治蔵」では、「国民文化祭枕崎市事業」新酒祭り」を開催します。蔵元でしか味わうことのできない、さまざまな手作り焼酎のお試しをはじめ、BSテレビ「酒場放浪記」でおなじみの

〈枕崎市実行委員会〉

吉田類氏もやっています。

その他、枕崎ならではの出汁のおもてなしや、「アートストリート&枕崎グルメツアー」、「まくらざき魅力発見ツアー」などの周遊ツアーも計画中です。

また、国民文化祭期間中は、南浜館においてこれまでの「風の芸術展」の入賞作品を一同に展示するなど、あらゆる感覚「味、香り、感性」を刺激する催しを取り揃えています。ぜひ枕崎市にお越しください。



枕崎のカツオ漁の様子



明治蔵

【問い合わせ先】
県庁生活・文化課
国民文化祭室
☎099 (286) 2863



<http://kagoshima-kokubunsai.jp/>

HITTOBE! KAGOSHIMA KOKUBUNSAI

かわ そえ
川添地区公民館
TEL 0995 (75) 2881

共生・協働の 地域社会づくり

座右の銘は「夢人(ゆめびと)」
(夢を持ち、夢を語り、夢をつなぎ、夢の実現。人ささえあい、人ともにたち、人ともによろこび、人ともに栄える。)

湧水町川添地区は、鹿児島県の中北部に位置し、約240世帯(うち高齢単身世帯60世帯)、約490人が暮らす農村集落で、11の自治会から構成されています。

高齢化率は42%で、児童・生徒数は、小・中学生合わせて10人程度となった時期もありましたが、その後、Uターン世帯の増加もあつたことなどから、現在その数は30人となっています。

ここでは日頃から顔の見える近所づきあいがあり、近所の人が「あそこのおばあちゃんはこの時間は散歩にでかけているよ」と所在を把握していたり、買い物に困っている方がいれば車でスーパーに連れて行ったりと、住民同士のつながりの強さが高齢者の生活面での安心に役立っています。また、敬老の日には、子ども達の校歌の合唱や肩もみのプレゼントなどの世代間交流も行われ、高齢者にとっても喜ばれています。

昭和54年に地区住民が作詞・作曲した「川添音頭」があり、会合などのたびに歌われ、歌詞にある「湧水、竹中池、桶寄川に飛ぶホタル、黄金の



敬老会で肩もみのプレゼント

稔る水田など」が大切にすべき地区の宝として住民の間にはしっかりと根付いています。

また、男性が踊る「太鼓踊り」と、女性が踊る「俵踊り」の2つの伝統芸能があり、地域行事で披露しています。踊りの練習には子ども達も参加するなど、伝統文化の継承に熱心に取り組んでいます。

毎年5月下旬には、地域ぐるみで「川添ホタルを観る夕べ」を開催し、広く地区内外の方に、地区一帯を飛び交うホタルなど美しい農村風景を楽しんでもらっています。老人会と子ども会が連携し、地区のシンボリック存在である竹中池の清掃、「花いっぱい運動」による花の植栽を行うなど、景観の維持・形成に取り組んでいます。

地区を流れる川内川は、平成18年7月の県北部豪雨災害で氾濫し、地区一帯も冠水しました。災害の記憶を忘れないように、公民館に残る冠水跡をそのまま残し記録する取り組みを行うなど、住民の防災意識の向上にも努めています。

これら地域づくりの取り組みは、地区公民館の文教部が手作りで作成した



老人会と子ども会で「花いっぱい運動」

代表者からひとこと



公民館長の桑原 さとし 佐年さん

いつでも、公民館に掲げた「夢人(ゆめびと)」の2文字を思い、地域コミュニティの強さを大切にしていきたい。

「川添公民館新聞」を通じて住民に広く紹介しています。

「地区での取り組みはたくさんあり、周りからは『大変そうだ』と思われるかもしれませんが、役割分担してみんなで取り組んでいるのでそれほど負担は感じない。最近では、移住してきた方にも、公民館の取り組みを通して少しずつ地域になじんでいただけるようになってきたと思う」と語る桑原公民館長。

高齢化が進むにつれて、それぞれの取り組みで指導的役割を担える人材が少なくなってきたおり、今後、担い手を確保し、取り組みを継続させていくことが地域課題の一つのことです。

住民がそれぞれ役割を分かち合いながら、世代を超えて連携し、地域づくりに取り組むことで、これからも安心して暮らせる地域であり続けることを期待しています。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関する問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。

おいしく・気軽に・ヘルシーに

かごしま減塩レシピ

VOLUME 08

減塩レシピ集



一般の方から投稿していただいたレシピをまとめました！ぜひホームページをご覧ください。



かんたんヘルシー減塩レシピQRコード

鹿児島県 かんたんヘルシー減塩レシピ

検索

副菜

トマトとフルーツでジューシーに！

我が家のハッピーサラダ



《食塩を無理なく減らすポイント》 こしょうやカレー粉などの香辛料を上手に使って、味に変化をつけましょう。

材料(2人分)

- ミントマト 300g
- アボカド 40g
- カッテージチーズ 50g
- オリーブ 15g
- くるみ 10g
- バナナ 90g
- ぶどう(マスカット) 60g
- オリーブ油 小さじ2分の1
- 黒こしょう(粗挽き) 小さじ4分の1

作り方

1. ミントマトは湯むきする。アボカドは皮と種を除き、食べやすい大きさに切る。オリーブは輪切りにする。ぶどう(マスカット)は房からはず洗っておく。バナナは皮をむき、輪切りにする。
2. クルミは適当な大きさに割り、弱火で軽くいって香りをだす。
3. すべての材料をボウルに入れ、オリーブ油で和えてから冷やす。食べる直前に黒こしょうで味を調え、器に盛る。

【POINT】 見た目も楽しめるサラダです。オリーブの味とバナナの甘さがアクセントになります。食塩なしでも十分おいしく召し上がれます。

【レシピ作成／神崎 隆様(いちき串木野市)】

鹿児島島の旬の食材を使用し、塩分は控えめ・おいしさはたっぷりの減塩レシピをご紹介します。

食塩摂取量の目標(成人男女平均)は、1日あたり8グラム未満。これに対して、鹿児島県民の食塩摂取量は、1日あたり10・3グラムです。目標に近づくため、食塩を1日2グラム減らした食生活を心がけ、生活習慣病をおいしく予防しましょう。

今回使用する旬の食材はミニトマトです。5〜9月が旬となるミニトマトにはビタミンCが多く含まれています。ビタミンCは、皮膚や粘膜の健康維持を助けるとともに、体内に発生し細胞を傷つける活性酸素を消去してくれるなどの抗酸化作用をもっています。

栄養成分：1人あたり

エネルギー	220kcal
たんぱく質	6.9g
脂質	10.5g
炭水化物	28.4g
食物繊維	4.5g
食塩相当量	0.4g



鹿児島県は離島の人口と面積が全国1位の県です。今回は奄美群島の与路島を紹介します。

ゆったりとした時間の流れる南の楽園

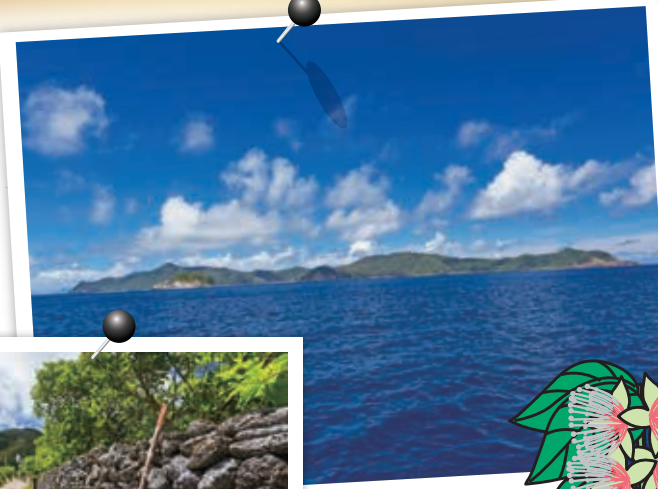
vol. 8

Yorojima

与路島

しまじま
島々

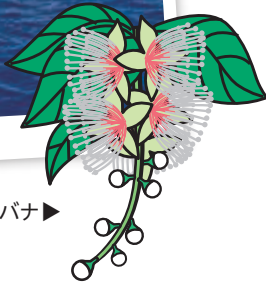
★もよう★



▲与路島

サガリバナ▶

◀珊瑚の石垣



サンゴの海に囲まれた
奄美の小さな島

奄美大島から南西へ、加計呂麻島のさらに南方に請島と並んで浮かぶ小さな島が与路島です。そこには豊かな自然と、静かな島の暮らしがあります。アダンや芭蕉の群生地をはじめ、亜熱帯の植物が島を覆っています。透明度の高い海とも相まって、島のあちこちで自然の魅力あふれるすばらしい風景に出会えます。美しい海は釣りやダイビングの名所として

も知られています。

また、東の沖にはハミヤ島という無人島があり、白砂の砂丘が山まで吹き上がった、ダイナミックな風景が広がっています。この島で子どもたちに自立心

や豊かな感性を身につけてほしいと、平成27年4月から「海の子留学」がスタート。3人の留学生が、共同の居住施設となっている「与路グリーンハウス」で里親と一緒に生活しながら、与路小・中学校へ通学しています。

そこは奄美の原風景
サンゴの石垣が続く道

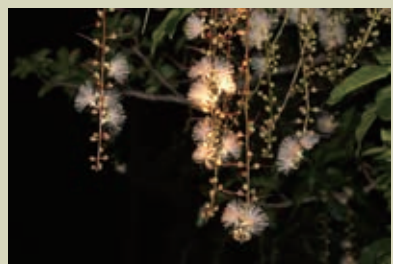
昔ながらのサンゴの石垣が続く集落の風景も、この島の魅力です。海から切り出したサンゴを積んだ石垣は、隙間が多くて風通しが良いため、夏に涼を運んでくれるのが特徴です。耐久性にも優れ、古いものが多く現存しています。

この景観は国土交通省の「島の宝100景」に「涼を呼ぶサンゴの石垣」として選定されています。



▲ハミヤ島

島々メモ 夏の夜に花開く サガリバナの並木道



与路集落の一角には約100m続くサガリバナの並木道があります。サガリバナとは奄美大島を北限とする熱帯性の植物で、甘い香りを放つ白い花を房状につけてフジのように垂れ下がって咲きます。夕方には咲き誇り、朝方にはすべて散ってしまいます。闇夜の中で咲き誇る様子は幻想的。散った後、花を敷き詰めたような並木道の光景も見物です。見頃は7月～8月頃。

- 【位置】 北緯28度2分39秒/東経129度9分50秒
- 【面積】 9.35km² 【周囲】 18.4km
- 【人口】 88人 (平成27年5月末現在)
- 【地形】 南北に200m～300mの山が連なる。
山林が海岸線まで迫り、風や波に削られた断崖も多い。
- 【主な産業】 農業・畜産
- 【アクセス】 古仁屋港から請島・与路島を結ぶ町営定期船「せとなみ」が1日に1往復程度運行。
古仁屋港～与路港まで(請島経由)の所要時間は約1時間40分。

問い合わせ先: 瀬戸内町役場 ☎0997(72)1111



本物。産品訪

鹿児島県 特産 特探

2014かごしまの新特産品コンクール 鹿児島県観光連盟会長賞

ペーパークラフト 「ルリカケス」

鹿児島県の県鳥でもある天然記念物の「ルリカケス」がペーパークラフトになりました。簡単な道具で組み立てられるので、子どもたちでも作ることができます。はまだふとし

奄美市にある株式会社エアポートTVネットワークジャパンの濱田大さんにお話を伺いました。

制作のきっかけは

写真家として奄美の自然を撮影するうちに、奄美の希少生物を写真だけでなく立体的に表現したいと思うようになりました。最初に企画したのはアマミノクロウサギ。胴体部分を裏返すと子ウサギが巣穴から顔を出した状態になる「びよん太」というぬいぐるみを制作しました。これに続く奄美の希少生物シリーズとして企画したのが今回のルリカケスです。ぬいぐるみでは表現が難しく、友人のペーパークラフト作家に相談したことからペーパークラフト「ルリカケス」が誕生しました。



大きさはカラスくらい。ルリカケスは美しい瑠璃色と赤褐色の羽根を持つ鳥です。

こだわったポイントは

大きさは実物より小さめですが、羽根の色のグラデーションやくちばしの曲線など、大きさ以外はできるだけ実物に近くなるように制作者と何度も話し合いました。

また、ルリカケスの生息環境を目と耳で感じてもらえるよう、スマートフォンやパソコンから背景と鳴き声を取得することができるQRコードを付けました。実際に奄美の森で収録した鳴き声と背景なので、リアルな臨場感を味わえます。

木工用ボンドとつまようじ、鉛筆などがあれば簡単に組み立てられるので、子どもたちにルリカケスを知ってもらいたい教材にもなると思います。各パーツの接着箇所が完全に乾いてから、次の工程に進むのがきれいに仕上げるコツです。

今後の抱負を聞かせてください

奄美の魅力をたくさんの人に知ってもらえるよう、これからもいろいろな奄美の生き物を立体的に表現して「奄美ワールド」を作ってみたいです。

単にかわいいだけではなく、その生き物の生態や周囲の自然環境なども一緒に紹介できるようなものを作りたいですね。動物や植物などのほかにも、奄美の妖怪「ケムン」など民俗や風習に関するものも面白そうだなと思っています。



「奄美の森で撮影が続けられるのは、森の神様が守ってくれるから」と話す濱田さん



ペーパークラフト「ルリカケス」

価格514円(税込) 1袋1体分
(組立前:縦15cm×横21cm)

プレゼントコーナー

ペーパークラフト「ルリカケス」を5名様にプレゼント。

応募締切 平成27年8月31日(月)

応募方法

ハガキ、FAXまたは電子メールに
①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想 ②郵便番号
③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

ハガキ宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」

FAX 099(286)2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

メール h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



株式会社エアポートTV
ネットワークジャパン
〒894-0025
奄美市名瀬幸町17-2
電話0997-52-1210
FAX0997-52-1222
<http://www.airport-tv-network.jp/>

広告

楠隼中学校・楠隼高等学校
体験入学・寮見学会

今春開校した県立楠隼中学校・楠隼高等学校の体験入学・寮見学会を開催します。

【期 日】○中学校：8月1日(土)
○高 校：8月2日(日)

【内 容】

- ・特色ある教育内容の紹介
 - ・生徒の学校生活・寮生活の紹介
 - ・体験授業
 - ・寮・学校の施設見学
- 実際に学校と寮をご覧いただきながら説明します。

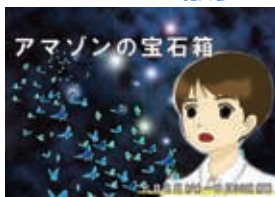
※事前の申し込みをお願いします。

※申し込み方法・日程など詳しくは、楠隼中学校・高等学校のホームページ、ブログをご覧ください。また、下記までお問い合わせください。

【問】県立楠隼中学校・楠隼高等学校
☎0994(65)1192

催し

プラネタリウム
「夢とロマンの星空散歩 夏編」



夏の星座案内では、「こと座」、「わし座」、「はくちょう座」など夏の主な星座について、それらのさがし方やエピソードなどを紹介します。また、創作星物語はアマゾンの自然に関する物語「アマゾンの宝宝箱」をお送りします。

【期 間】6月2日(火)～8月30日(日)

【時 間】午前11時～、午後1時30分～、午後3時～(各30分)

【場 所】宝山ホール(県文化センター)4階
プラネタリウム

【料 金】小・中学生：110円
高校生以上：200円

【申し込み】不要(直接会場にお越しください)

【問】県立博物館 ☎099(223)6050

企画展 「花にあつまる昆虫たち」

花はミツや花粉で昆虫たちを誘い、花から花へと巡らすことで子孫を作ります。また昆虫は、花からもらう食べ物で生活します。花と昆虫はまるで協力し合い、よい関係を作っているのように見えます。その不思議を紹介します。



【期 間】7月4日(土)～9月13日(日)

【時 間】午前9時～午後5時

【場 所】1階 企画展示室

【料 金】無料

【問】県立博物館 ☎099(223)6050

くらし

鹿児島からもっと海外へ！
～便利な助成制度があります～



鹿児島空港の国際定期路線(ソウル線、上海線、台北線、香港線)を利用する方で、6人以上の団体やビジネス客に対しては、渡航費用の一部助成を行っています。

また、4路線を利用した上での乗り継ぎ利用に対しては、助成額を増額しています。さらに、5月12日から香港線が週3便(火・木・日)に増便されました。

ますます利用しやすくなった鹿児島空港の国際定期路線をぜひご利用ください。

【問】県庁交通政策課 ☎099(286)2457

福祉・保健医療職場就職
ガイダンスを開催します



福祉・保健医療職場への就職を希望する一般の方や来春卒業予定の大学生などを対象に、福祉・保健医療職場就職ガイダンスを開催します。

【日 時】8月6日(木)

午前10時30分～午後4時

【場 所】鹿児島サンロイヤルホテル
(鹿児島市与次郎一丁目8-10)

【内 容】

- ・就活応援セミナー
- ・求人予定施設ブースによる施設紹介や施設職員との情報交換、個別就職面談
- ・各種相談コーナー

【問】県社会福祉協議会
福祉人材・研修センター
☎099(258)7888

試験

鹿児島県職員採用試験を実施します



【試験の種類】

- 中級試験 一般事務、教育事務、土木
- 初級試験 一般事務、警察事務、農業土木、土木

【受付期間】8月12日(水)～28日(金)

※インターネットによる受験申し込みは、8月12日(水)～26日(水)

【第1次試験日】9月27日(日)

【試験地】鹿児島市

【受験資格】

- 中級試験 20～27歳
- 初級試験 18～21歳

※年齢はいずれも平成28年3月末現在

【その他】

試験案内および受験申込書は、県庁など県の機関で配布しています。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。また、下記までお問い合わせください。

【問】県人事委員会事務局総務課
☎099(286)3893・3894

募集

かごしま国文祭(開・閉会式)
一般入場者募集!

第30回国民文化祭・かごしま2015の開会式・閉会式の一般入場者を募集します。

【開会式】日時:10月31日(土)

午後2時30分～午後4時40分

場所:鹿児島アリーナ

【閉会式】日時:11月15日(日)

午後4時～午後5時55分

場所:宝山ホール

【受付期間】8月1日(土)～9月15日(火)

※申し込み方法などの詳細については、県国文祭ホームページ等にてお知らせします。

※市町村主催のイベントについては、入場整理券が必要な場合があります。早いものでは7月から募集が始まりますので、お見逃しのないようお気を付けください。

【問】県庁国民文化祭室
☎099(286)2868

平成27年度 海音寺潮五郎記念文化講演会

県立図書館では、「海音寺潮五郎記念文化講演会」を開催します。

【日 時】8月22日(土)

午後1時30分～午後3時45分

【場 所】かごしま県民交流センター
県民ホール

【内 容】

- ・葉室麟氏(直木賞作家)と原口泉県立図書館長の対談
- ・県内内高校生による海音寺作品の朗読

【問】県立図書館 ☎099(224)9514

九州管楽合奏団公演



ヨハン・デ・メイ率いる、九州唯一のプロの吹奏楽団、九州管楽合奏団が待望の初来鹿。壮大な吹奏楽の音色をご堪能ください。

【日 時】8月23日(日)午後2時開演
(午後1時30分開場)

【会 場】みやまコンセール・主ホール

【入場料】一般3,000円 学生1,500円
※全席自由

【演奏曲】

- ・交響曲第1番「指輪物語」
- ・映画「ヘンリー五世」
- ・ミュージカル「オペラ座の怪人」ほか

【問】みやまコンセール
☎0995(78)8000

夏の星空観望会



夏の星空を見ながら、宇宙の神秘と雄大さを感じてみませんか。

【日 時】8月2日(日)

午後7時～午後9時

【場 所】県立青少年研修センター

【対 象】家族・グループほか

【定 員】300人程度
(事前申し込みが必要)

【内 容】土星や夏の三角などの観望

【問】県立青少年研修センター
☎099(294)2111

夏休みわくわく自然学校in霧島



霧島の大自然を舞台に山登りや沢登りを体験しませんか。きめ細やかなサポートで小学生でも安心です。

【期 日】8月8日(土)～10日(月)

【場 所】霧島自然ふれあいセンター及びその周辺、霧島山

【対 象】小学4年生～6年生 35人
(先着順とし、定員に達し次第締め切ります)

【内 容】セーフティ登山ガイド、キャンプ、霧島山登山、沢登り

【参加費】4,900円

【問】県立霧島自然ふれあいセンター
☎0995(78)2815

ネリヤカナヤフェスタ



多くの恵をもたらしてきた奄美の海を紹介することにより、その魅力を認識してもらいたいイベントです。ぜひ、ご家族やお友達とご来園ください。

【期 間】7月12日(日)～8月31日(月)

オープニングイベント

～フラダンスパーティー～

7月12日(日)

午後1時30分～午後3時30分

※7月15日(水)は休園日

【時 間】午前9時～午後7時

【場 所】奄美パーク 奄美の郷

【料 金】無料

【問】県奄美パーク ☎0997(55)2333

一日縄文人体験第2回 縄文の繊維・カラムシ



土手や道ばたなど、身近な場所に自生する草であるカラムシ。縄文時代から利用されてきたカラムシの繊維を取りだして、紙すきによるはがき作りを行います。

【日 時】7月26日(日)

午前10時～正午

【会 場】上野原縄文の森体験学習館

【定 員】小学生以上30人程度
(事前申し込みが必要)

【料 金】50円

【問】上野原縄文の森 ☎0995(48)5701

県ホームページアドレス

<http://www.pref.kagoshima.jp/>

広告

かごしまよかとこ巡り
旅ガラスのごとく広い県土
を飛び回り、お薦めの観光
スポットを紹介します。

南の島で花とサンゴに 癒やされる旅

鹿児島県の南海に浮かぶ隆起珊瑚礁の島沖永良部島と与論島。今回は、『えらぶゆり』の産地で有名な「花の島」沖永良部島の和泊町と知名町、「鹿児島県最南端の島」与論島の与論町を巡り、おすすめスポットをご紹介します。

1 ゆりがはま 百合ヶ浜

大島郡与論町

与論島の東側にある大金久海岸の沖合1.5キロメートルの場所に、春から夏にかけて、大潮の干潮の時間帯だけに出現する幻の砂浜。真っ白い砂の中からかわいい星砂を見つけてみませんか。

【所在地】与論町古里

与論町総務企画課 ☎0997(97)3111



2 日本一のガジュマル

大島郡和泊町

国頭小学校にあるガジュマルは、根回り8メートル、円形に広がった枝張りの直径22メートルで、枝振りには日本一と言われています。1898年(明治31年)に植樹されたもので、新日本銘木百選に選ばれています。

【所在地】和泊町国頭2904

和泊町企画課 ☎0997(84)3512

4 たみなみさき 田皆岬

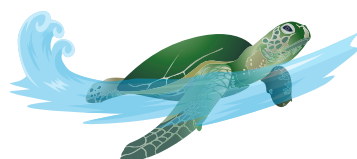
大島郡知名町



珊瑚礁が隆起した高さ51メートルの断崖絶壁。コバルトブルーの海と白い波しぶきの先には与論島や沖縄本島が見え、波の穏やかな日にはウミガメが遊泳する姿に出会えることも。

【所在地】知名町田皆

知名町企画振興課
☎0997(84)3162



3 ウミガメビューポイント

大島郡和泊町



満潮時、リーフ内側の浅い礁池に海藻を食べにくるアオウミガメが見られます。特に海藻が豊富な2月から6月にかけて、最大30頭ほどのアオウミガメを見ることができ、この様なスポットは国内では唯一ここだけといわれています。

【所在地】和泊町畦布

和泊町企画課 ☎0997(84)3512



6 よろんじょう
与論城跡周辺 大島郡与論町

与論城は、15世紀頃に琉球北山王の三男によって築城されたといわれており、毎年旧暦3・8・10月の各15日に、地主神社へ国の重要無形民俗文化財である「与論十五夜踊り」が奉納されます。サザンクロスセンターには与論島の歴史、芸能、物産などが展示されています。

【所在地】与論町城
与論町総務企画課 ☎0997(97)3111



5 ケイビング 大島郡知名町

沖永良部島の地下に広がる鍾乳洞群を地元ガイドとめぐる洞窟体験。ダイビングと並ぶ注目の観光ツアーです。島内には200を超える洞窟があると言われて、中でも特に鍾乳石の発達した洞窟をガイドと一緒に探検気分満喫できます。

知名町企画振興課 ☎0997(84)3162

★ **サザンクロスセンター**



【所在地】与論町立長3313 【定休日】無休
【営業時間】午前9時～午後6時 【駐車場】有
【料金】高校生以上400円 小中学生200円
サザンクロスセンター ☎0997(97)3396

★ **えらぶゆり**

沖永良部島は「えらぶゆり」と呼ばれるテッポウユリが自生するほか、露地栽培も盛んで、島のあちこちに花畑が見られます。切り花や球根は、全国的に高い人気を誇ります。



※利用時間や休業日などはおでかけ前に各施設にお問い合わせください。

7 MANGO Confiture 大島郡和泊町
(マンゴーコンフィチュール)

鹿児島県新加工食品コンクール優秀賞、あまみ島一番コンテスト優秀賞を受賞。マンゴーを贅沢に使用し、風味を存分に楽しめるコンフィチュール。

【所在地】和泊町出花860-3
東マンゴー園 ☎0997(92)3909



8 シマ桑(青汁) 大島郡知名町

健康食品の素材としても注目されているシマ桑。シマ桑青汁は、知名町シマ桑生産組合が栽培した桑の葉のみを丁寧に収穫し、新鮮なうちに粉碎した粉末を使用して作っています。またその粉末は、お茶やソバ、ちんすこうなどさまざまな製品で活用されています。

知名町農林課 ☎0997(84)3164



9 島有泉 大島郡与論町



与論島で唯一作られている黒糖焼酎の「島有泉」。古来より与論でお客様のおもてなしとしてお酒を振る舞う作法「与論献奉」を一度体験してみませんか。

【所在地】与論町茶花226-1
有村酒造株式会社 ☎0997(97)2302

7月26日(日)

志布志市しおかぜ公園(志布志港)



2015志布志 みなとまつり

問い合わせ先

志布志みなとまつり実行委員会
事務局(志布志市商工会内)
☎099(472)1108

志布志の夏の風物詩。志布志湾を鮮やかに彩る約1万発の花火。当日は花火のほかにも、さんふらわあ志布志湾クルージングや多くの出店が並ぶなど楽しいイベントが盛りだくさん。子どもから大人まで楽しめること間違いなし。この機会にぜひ。

8月1日(土)

伊佐市陸上競技場周辺



伊佐市花火大会

問い合わせ先

伊佐市商工会
☎0995(22)0224

澄みわたる伊佐の夜空を舞台に、満天の星と5,000発の打ち上げ花火が華やかに競演。水面にうつる様もきらびやかで格別。堤防沿いには露店も立ち並び、多くの客で賑わう。家族や友人と足を運んでみては。※雨天の場合、2日(日)に順延

8月8日(土)~9日(日)

枕崎海岸通り



さつま黒潮 「きばらん海」 枕崎港まつり

問い合わせ先

きばらん海事事務局
☎0993(72)1072

約2,500人を超す規模での総踊りや漁師なべの無料配布、カツオの刺身の大試食会など、さまざまな催しで大いに盛り上がる南薩摩最大の夏祭り。フィナーレには南海の海に1万発の花火が打ち上がる。九州でも珍しい三尺玉大花火は一見の価値あり。

EVENTS INFORMATION

イベント情報

2015年

7~8月

JULY AUGUST



7月18日(土)~19日(日)

霧島市役所周辺



霧島国分夏まつり

問い合わせ先

霧島国分夏まつり実行委員会
(霧島商工会議所内)
☎0995(45)0313

2日間にわたる霧島市の夏の風物詩。市中パレードに始まり、約6,000人の総踊り、2日目の国分寺御輿競走でフィナーレを迎える。期間中、市内外から約12万人の人手でにぎわう。この機会に出かけてみては。

7月19日(日)

いちき串木野市串木野地域中心商店街



市制施行10周年記念 串木野さのさ祭り

問い合わせ先

いちき串木野市観光交流課
☎0996(32)3111

「みなと串木野」の情緒や心情を唄い継がれてきた民謡「串木野さのさ」の調べにのって踊り連を繰り出す夏祭り。「さのさ踊り市中流し」は県下有数の流し踊りのひとつで、約2,000人の踊り手で賑わう。また、前夜祭やアトラクションなども行われる。

広告

8月15日(土)～16日(日)

瀬戸内町古仁屋市街地全般



瀬戸内町みなと祭り

問い合わせ先

瀬戸内町まちづくり観光課
☎0997(72)1115

毎年8月に2日間にわたり古仁屋市街地を中心に開催される。1日目は相撲大会、市中パレード、歌謡・島唄大会、2日目は海上パレード、船こぎ大会、八月踊り、花火大会が行われる。イベント盛りだくさんの「瀬戸内町みなと祭り」へぜひ一度行ってみよう。

8月9日(日)

阿久根漁港新港水揚げ場



第23回あくね新鮮おさかな祭り

問い合わせ先

あくね新鮮おさかな祭り実行委員会
☎0996(73)1162

水揚げされたばかりの新鮮な魚介類や水産加工品などが販売されるほか、魚のつかみどり、マグロ解体ショー、ステージイベントなど子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん。ぜひこの機会に海の幸をご堪能あれ。

8月22日(土)

南さつま市高橋玉手神社(金峰町)ほか



高橋十八度踊り(ヨッカブイ)

問い合わせ先

南さつま市教育委員会
生涯学習課
☎0993(53)2111

水神を祭る踊りで、毎年8月22日に行われる。異様な姿の大ガラツパが笹竹を振り回し、奇声を発しながら見物人を笹竹で叩いたり、子どもを抱き上げかますの中に押し込んだりする。それをされると、その年は水難を免れると伝えられている。

8月13日(木)

薩摩川内市里地区



かずらたて

問い合わせ先

里地区コミュニティ協議会
☎09969(3)2958

里地域の伝統行事。山から採ってきた「くずかずら」をつなぎ合わせ綱をつくる。先頭に大漁旗やノボリを立て、変装した踊り子が鉦やホラ貝の音に合わせてカズラの大綱を持ち上げ、それを大蛇にみたとて地域内を練り歩く、五穀豊穡を祈る祭り。

8月29日(土)

十島村悪石島



ボゼ祭り

問い合わせ先

十島村土木交通課航路対策室
☎099(222)2101

旧暦の7月16日に出現する仮面神ボゼは、盆行事の幕を引き、人々を日常の世界へ引き戻す役目を担っている。この十島村の伝統行事「ボゼ祭り」に合わせて、4日間のツアーが実施される。鹿児島県の無形民俗文化財にも指定されている伝統行事は一見の価値あり。

8月15日(土)

日置市北山納骨堂広場



北山の火振り

問い合わせ先

日置市役所 東市来支所
教育振興課
☎099(274)2115

日置市の無形民俗文化財に指定されている「北山の火振り」。毎年8月15日、霊を送る行事として行われる。竹の先に薪をくくりつけ大きくしならせる。炎が夜空に弧を描き火の粉が舞い散る、幻想的な夏の催し。

広告

薩摩藩 英國留學生 同行記

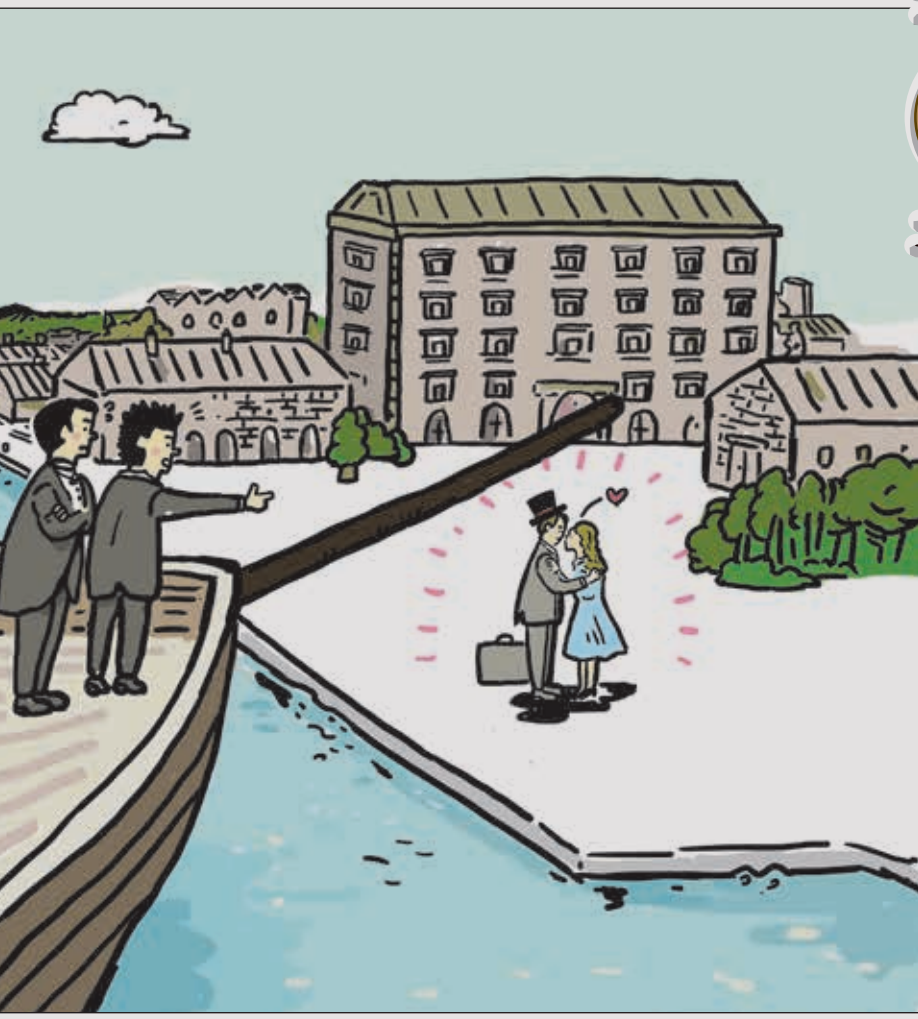
Record of Satsuma Students Travel Companions

留学生、船上で 西洋文化に 触れる

第2回
全6回

参考資料/薩摩海軍史・薩摩藩英國留學生

画/竹添 星児 本文監修/東川 隆太郎



現在イギリスへ向かっている薩摩藩英國留學生一行は、香港やボンベイ、スエズなどを経由しながら旅程を進めている。本紙記者の取材によると、一行はいくつかの困難に遭遇しながらも異国の文化に触れ、多くの衝撃を受けているようだ。

決意の断髪

食事と暑さに苦しむ

羽島はしから乗船後、留學生一行を襲った最初の苦難は船酔いと西洋料理中心の食事であった。留學生の一人、松村淳蔵まつむらじゆんぞう（本名・市来勘十郎いちきかんじちろう）は「味ある物は橙だいだいと米計はかりにて」と、出港当初は食べられるものだけでなんとかしのいでいたと振り返る。また乗船三日目には留學生らが自らまげを切り落とした。まげを珍しがる外国人船員らのぶしつけな視線に耐えかねての事とみられるが、今後西洋で生活するうえでは洋髪にせざるを得ないという考えもあったようだ。しかし断髪は武士の誇りに関わることであり、彼らにとっては苦渋の決断であっただろう。

さらには南下するにつれて加わる炎暑も一行を苦しめた。薩摩の暑さに慣れているとはいえ、熱帯の蒸し暑さは

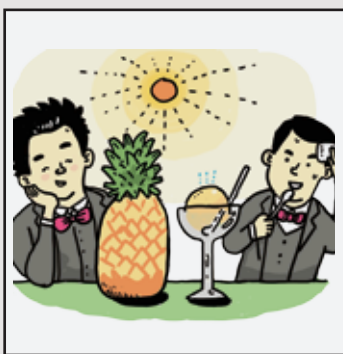
耐えようがなく、出だしから苦しい船旅となった。

異文化との出会い

西洋式の挨拶に驚嘆

居心地の悪い出来事もあったが、それでも異国の文化は留學生らをおおいに興奮させた。最初の寄港地・香港では、夜景の美しさに「あたかも螢火ほたるびに髣髴ほつぷつたり」と心魅せられた。初めて異国の地を踏んだ一行は市内見物を行い、その近代的な設備にも驚いたようである。その後もペナンの原生熱帯雨林や、ボンベイのイギリス式高層建築など、さまざまな異国の風景が一行を感嘆させた。一方で火山岩の多いアデンでは「椋島の風景を懐かしむ一幕もみられた」。

初めて口にするものも多く、特にパ



異国の珍しい果物や甘味は留學生たちに強い印象を与えた。



ほり たかゆき
堀 孝之

(天保15(1844)年 - 明治44(1911)年)
長崎のオランダ通詞(通訳)堀家の生まれで、薩摩藩英国留学生に通詞として参加。以後、五代友厚の事業を生涯支えた。
写真：鹿児島県 歴史資料センター黎明館 蔵



まつむら じゅんぞう
松村 淳蔵

(天保13(1842)年 - 大正8(1919)年)
薩摩藩英国留学生としてロンドン大学で海軍測量術を学び、その後アメリカで海軍術を学ぶ。帰国後は海軍に入り、海軍兵学校長として海兵教育の発展に貢献した。
写真：鹿児島県立図書館 蔵



なごや ときなり
名越 時成

(弘化2(1845)年 - 大正元(1912)年)
薩摩藩英国留学生としてロンドン大学で陸軍学術を学び、翌年帰国。帰国後は戊辰戦争に出陣し、その後奄美大島に身を置いた。
写真：鹿児島県立図書館 蔵



とうこう あいのしん
東郷 愛之進

(天保11(1840)年 - 明治10(1868)年)
薩摩藩英国留学生として海軍機械術を学び、翌年帰国。戊辰戦争に出陣し、東北を転戦中に死亡。
写真：鹿児島県立図書館 蔵



イナップルという桃のような味の果物は印象に残ったようだ。インド洋の船上では「アイス・クリーム」という氷菓子が振る舞われ、炎天下に氷を作る技術には留学生らも驚きを隠せない様子であった。

見るものすべてが珍しい旅の中で、特に強烈な印象を与えたのは、西洋人家族の別れの様子だろう。離ればなれになる夫婦や親子が人目もはばからずに接吻を繰り返す姿は、まさに異文化を見せつける出来事であり、その場に居合わせた留学生も「我輩は斯ることは、はじめて見たることにて驚嘆して居し、親敷別には口を互に吸うが尤もよき礼と聞及候」とその驚きを語っている。

初の蒸気機関車に乗車

ついに英国へ

一行はボンベイなどを経由しスエズに上陸。建設中のスエズ運河などを見学し、我が国にはない近代的な技術に驚嘆の声をあげた。また一行をさらに驚かせたのが、このスエズから乗車した蒸気機関車である。黒煙を吐き出しながら時速約40キロメートルで走る汽車は「其早きこと疾風の如し」と評された。汽車は約四時間でアレクサンドリア

アに到着したが、その間にもヒラミッドや水牛、ラクダ、羊の群れなどさまざまな車窓の景色が一行の目をみはらせた。現在、一行はアレクサンドリアから豪華客船「デルヒ号」に乗り込み、マルタなどを経由してイギリスへ向かっている。約二カ月の旅を経て、同国サザンプトン港には慶応元(一八六五)年六月二十一日頃に到着する見込みである。



日本からイギリスまでの航路

※本紙は薩摩藩英国留学生の当時の様子を紹介する企画です。本文中の時間は新暦とします。

次回
ロンドンでの生活
はじまる



ホームページを開設。
担ぎ手の確保と観光振興に
つなげたい

太鼓山保存会会長

名越 寿生 さん(47)

私が子どもの頃、太鼓山の叩き手はヒーローでした。今は子どもの数が減ったので、近くの小学校で募集をかけ、叩き手を育てています。山の担ぎ手は100人以上必要ですので、人数を確保するために、この6月からホームページを立ち上げ、担ぎ手を広く募集しています。全国の方々に祭りのことを知ってもらい、種子島の観光振興にもつなげていきたいと考えています。
<http://taikoyama.main.jp/>



太鼓山

西之表市西町／八坂神社
たいこやま

140年の伝統と島の誇りを担ぐ、勇壮な祭り

8月下旬の日曜日、西之表市では島最大の祭り、「種子島鉄砲まつり」が行われます。火縄銃の轟音と共に始まる勇壮な行列を見ようと、1万人を超える人々が集まります。

その先頭を切るのが「太鼓山」です。「チョッサー」、チョッサー、「サセ、サセ」という勇ましい掛け声に合わせ、白装束の男衆1200人が、櫓の上に太鼓と叩き手の4人の小学生を乗せた太鼓山と呼ばれる御輿を担ぎ、西町の八坂神社から下西湊泊漁港近くの王之山神社までの往復約7キロメートルの道を練り歩きます。

「太鼓山は市の無形民俗文化財に指定されている伝統行事で、今年開始から140年を迎えます。元々は八坂神社祇園祭の行事でしたが、2006年から鉄砲まつりの中に組み込まれました。」こう話す太鼓山保存会会長の名越寿生さんは、太鼓の叩き手として子どもの頃から祭りに参加してきました。「チョッサーは『長傘』で、恵みの雨と嵐の象徴です。サセは『傘をさす』こと。『長傘をさす』という掛け声には五穀豊穡と豊漁、航海安全への願いが込められています」

鹿児島には、古くから受け継がれてきた個性豊かな伝統行事・祭りが残っています。今回はそんな伝統行事の中から「太鼓山」をご紹介します。

最大の見せ場は、昼過ぎに行われる甲女川での川渡りと太鼓山の横倒しです。太鼓山を担いで川を渡り、広い通りに出たところで左右90度に倒します。「川渡りは王之山神社と縁の深かった平家落人の鎮魂を意味し、横倒しは他の神社への敬意を示す所作と言われます。子どもは太鼓山から落ちそうになりながらも太鼓を叩き続け、祭りを通して男の勇敢さを身につけるんです」と名越さん。山に掲げる日章旗にも意味があるそうです。「日の丸は、元々は種子島家の船印でもありました。太鼓山は島の誇りをまもっているのです」。今年の勇姿は、8月23日に見ることが出来ます。



西之表市

西之表市は、昭和33年、旧西之表町の市制施行で発足した総人口16,266人(平成27年4月末日現在)のまちです。種子島北部に位置し、種子島の総面積の約45%を占めています。マリンスポーツが目当ての観光客も多く、温暖な気候が特徴です。写真は西之表市立榕城小学校校庭にある「アコウの大木」。樹齢460年といわれる巨木は樹高約12m。太い幹と細い枝が特徴で、西之表市の市木でもあります。